

街に出るクマ

～アーバンベアとどう付き合うか～

活動地域  日本全国

ひろげる助成

3年目

調査研究

クマ出沒対策事例集 **600部**

クマトランクキットの新規配備 **3個**

今年度計画の達成度 **95%**

全体計画の達成度 **95%**



活動最終年の一般公開シンポジウムの様子

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

最終年度に実施した一般公開シンポジウムにて、初めてハイブリッド方式を採用・実施したが、機材や配信が複雑で準備や当日の進行で苦労した。

■ 工夫した点

印刷物のデザイン・印刷、動画作成・配信等、高い技術が必要なものは、プロジェクトに理解いただいた会員内外の手助けを拜借したりコラボによる委託をしたりした。

課題

近年クマの市街地出沒が増えているが、その情報整理と対策は十分ではない。奥山でクマを保全し、市街地で人の安全を守る「ゾーニング管理」の普及と環境整備が課題である。

目標

クマが市街地に出没する要因や対策の必要性を理解できる住民を増やすと同時に、地域が主体的に出没対策を行い、継続的に普及啓発活動を実行できるようにする。

活動内容と成果

- クマ出沒対策事例集を作成し、日本全国の警察機関と県に配布した
- モデル地域（富山県、神奈川県）にてトランクキットを用いたワークショップを行った
- クマ普及啓発人材育成講座を大阪府と岩手県で実施した
- クマの普及啓発用の無料貸し出し教材トランクキットを新規で3個作成し、既存のトランクキットの増強も行った
- YouTubeにクマ普及啓発にかかわる動画を4本公開した
- 一般公開シンポジウムを開催するとともに、HP及びFacebookで情報発信を行った



富山のショッピングモールでのワークショップの様子

全助成期間の活動を振り返って

3年間の活動の大半は、新型コロナウイルスの影響により思うような活動が実施できない状況にあり、各活動が個別に進行するというこれまでにないプロジェクトだった。一方で、各活動をリードするメンバーの奔走だけでなく、会員内外（特に新規の活動参加者や若手参加者）のサポートに大きく支えられ、結果的にほとんどすべての目標を達成することができたことは大きな成果である。



クマ出沒対応事例集(右)と最終報告書(左)

〒060-0818
北海道札幌市北区北18条西9丁目
北海道大学獣医学部S棟102 野生動物学教室内
HP : <http://www.japanbear.org/>



今後の展望

トランクキットの各地への配置（長期貸し出し）や動画を通じた普及啓発を実施し続けるとともに、担い手を育成することで、今回充実させたトランクキットが各地で継続的に活用される体制を整える予定である。また、本活動を通してより一般層に向けたクマの普及啓発の重要性を認識したことから、一般へのアウトリーチを引き続き実施し、アーバンベアに限らずクマのものへの理解の向上をめざす。